

長谷川ともかず

市政レポート 2025年1月 vol.6



かわさきほっとらいん



所属委員会：総務委員会 ・大都市税財政制度調査特別委員会 ・港湾審議会委員
・神奈川県後期高齢者医療広域連合議会議員

川崎と共ともに生きる



昨年は市制100周年を迎え、今年は101年目の新たな一步を踏み出しました。多様性を尊重し合うことで成長してきた本市の強みを活かし、多様な文化や価値観が共存する「多様性のまち」として、地域社会の更なる発展をめざし全力を尽くしてまいります。本年も変わらぬご支援と、ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

今号では、昨年11月26日から12月19日にかけて開催された令和6年第4回定例会における、12月17日の私の一般質問の概要を報告いたします。

長谷川ともかずの一般質問

川崎区の人口密度は市内最下位！？

（総務企画局、危機管理本部、川崎区）

【質問】 昨年12月1日現在の人口密度は、7区で1番高いのは中原区の1kmあたり1万8094人、次に幸区の1万7248人、最後に川崎区の「5762人」です。人がほとんど居住していない臨海部を除いた川崎区の面積は14.68km²で、中原区の面積14.81km²とほぼ同じ面積となり、人口密度は「1万5796人」と、市内で3番目に相当する数値になります。防災と危機管理の観点から、この実態と乖離した数値が、地域防災計画など市政に及ぼす影響等について質問しました。

【回答】 地域防災計画の具体的な取組は地域の特性を踏まえ進めているので、影響はないと考えているが、人口密度の記載については防災分野の有識者の意見を伺う。

【要望】 川崎区の人口と住宅の状況は、誰が見ても過密集中であることは明らかです。実態とかけ離れた数値は、それを補う表記や参考値といった形で補足するなど、実情に合った情報を市民に提供することの必要性を求めました。

富士見公園を魅力ある公園にするために！！

（建設緑政局）

【質問】 リニューアルオープンした富士見公園が、これからも川崎区の象徴として市民に愛され、魅力ある公園にしていくためには、地域住民が管理運営に参画し、市民意見を反映するなど市民協働による持続的な取組が肝要です。見解と今後の対応について質問しました。



【回答】 様々な主体が連携して管理運営に積極的に関わっていく仕組みづくりが必要。周辺自治会や市内事業者、教育機関、各種団体等による市民協働のプラットフォームづくりに向けて調整していく。

【要望】 今後、「官・民・地域」が一体となって、より良い公園を創り上げていくため、市民協働運営に向けた協議体等の設置にあたり、構成メンバーの選定には十分留意して調整を進めるよう求めました。

外国人を雇用する事業者に支援を!! (経済労働局)

【質問】 近年、様々な業種で人材不足が深刻化し、2024年、2025年問題が更に拍車を掛け、特に中小企業等において人材確保が大きな社会問題となっているなか、各分野で外国人労働者を雇用する事業者が増加しています。外国人を雇用する事業者への支援は、現在、厚生労働省の助成金がありますが、本市における支援に向けた取組み等について質問しました。

【回答】 市内中小企業等が外国人材を円滑に雇用できる環境づくりに取組むことは重要であることから、専門家による相談支援等に取組むとともに、多様化する外国人材の雇用に関する課題への対応について、関係機関等と連携し検討していく。

【要望】 外国人を雇用する事業者の不安や負担を軽減するための支援とともに、外国人労働者に対する地域社会の理解度を深める取組みを推進するよう求めました。

女性活躍で中小企業を元気に★ (市民文化局)

【質問】 女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取組む中小企業を支援する目的で、平成30年度から始まり、今年で7年目となる「かわさき☆えるぼし」認証制度について、認証の効果や今後の取組み等について質問しました。

【回答】 各企業にとって女性の活躍推進や働き方改革に取組む契機となり、女性だけでなく、誰もが働きやすい職場環境を醸成する上での意識の向上につながっているものと考えている。



【要望】 多様な業種で活躍する女性同士がつながり、気軽に意見や情報交換ができるよう「認証企業間による交流の場」を提供するなど、中小企業の活性化を図る取組みを求めました。

建設業のDX推進に向けて!

(建設緑政局、まちづくり局、上下水道局、港湾局)

【質問】 本市が発注する建設工事では、受発注者間が工事の書類管理等のやり取りをオンラインで行うことができる「情報共有システム」を利用できます。同システムは建設工事の生産性向上及び業務の効率化等に資するものであるにもかかわらず、未だ利用する受注者の割合が少ない状況です。課題や今後の取組み等について質問しました。

【回答】 今後は、受注者及び発注者へのシステム操作研修を実施するとともに、業界団体との面談の場を通じて、メリットの周知を行いながら、同システムの利用促進を図る。

【要望】 建設業のDXに関して、その他にも「ICT活用工事」や建設現場の「遠隔臨場」等があります。運用にあたっては各所管局が横断的に連携し、建設業界の皆様とよく意見交換を行い、理解を深めながら取組みを進めるよう求めました。

川崎から発信「人権尊重のまちづくり」 (市民文化局)

【質問】 「川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例」が令和元年12月に制定されてから5周年を迎えました。昨年11月に新たな啓発動画の制作や、Xの公式アカウントを開設した趣旨と今後の展開等について質問しました。

【回答】 今回の人権啓発事業を契機に、市民やネット利用者の中でヘイトスピーチ問題への関心が高まり、ヘイトスピーチの解消に向けた機運が醸成されるよう取組を進める。

【要望】 条例制定5周年を契機に、改めて「ヘイトスピーチやネットヘイトは許さない!」という強い姿勢を、川崎のまちから市内外に広く発信することは意義深いことです。あらゆる差別やヘイトを許さず、多様性を尊重する取組みをより一層推進するよう求めました。

15秒

30秒

シャットアウト! ネットヘイト

.....動画はこちらから▶



プロフィール 元・川崎市職員

「故・飯塚まさよし」市議会議員の後継者

- 1972(昭和47)年生まれ、52歳
- 川崎区大島上町在住
- 妻、長男、長女、次女の5人家族
- 日本大学工学部土木工学科卒業
- 民間企業で15年間、土木・造園工事の現場監督(サラリーマン)
- 川崎市役所で12年5ヶ月間、建設・道路行政に従事(行政マン)



- 2022年8月、川崎市役所を退職し政治家の道を志す
- 2023年4月、市議会議員選挙(川崎区)初当選
- 田島小学校 元PTA会長(9年間)
- 渡田中学校 元PTA会長(3年間)
- 市立川崎高校 元PTA会長(3年間)
- 川崎市高等学校区PTA協議会 元会長
- 渡田こども文化センター運営協議会 会長
- 川崎野球協会 副会長・大師支部 支部長
- 全川崎選抜野球大会実行委員会 委員長
- 川崎市相撲連盟 副会長

資格

- 1級土木施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 測量士、ほか
- ロックンロール
- ゴルフ
- ガーデニング

趣味

長谷川ともかず事務所

〒210-0834 川崎市川崎区大島 1-23-4 サイトーハイツ 102
TEL : 044-280-8824 FAX : 044-280-8834
MAIL : hasegawa-tom@an.wakwak.com

各種SNS
運用中!



X (旧Twitter)



Facebook



LINE